

春分、秋分と彼岸の関係

2017年9月25日
真言宗豊山派 金剛院
こんごういんキッズ
他

2017年の春分の日は3月20日・祝日。秋分の日は9月23日・祝日。

春分の日、秋分の日ともに、太陽が真東から昇り、真西に沈み、昼の時間と夜の時間が同じです。

春分の日以降、昼の時間が日に日に長くなり、夜明けが早くなり、夕暮れが遅くなり、**春から夏の兆しが顕著になります。**
秋分の日以降、昼の時間が日に日に短くなり、夜明けが遅くなり、夕暮れの時間が早まり、**秋から冬へと季節は動きます。**

- 「春分の日」は、**「自然(しぜん)をたたえ、生物をいつくしむ」**日、
- 「秋分の日」は、**「祖先をうやまい、なくなった人々をしなのぶ」**日 として、国民の祝日に定められています。

更に「春分の日」と「秋分の日」は、お彼岸の中日(ちゅうにち)でもあります。

仏教では、ご先祖さまのいる世界<極楽(ごくらく)>を「彼岸(ひがん)」、いま私たちが生きているこの世界を「此岸(しがん)」といい、「彼岸」は、西に位置し、「此岸」は、東に位置するとされています。

3月の春分の日と9月の秋分の日、太陽が真東から昇り、真西に沈むので彼岸と此岸がもっとも通じやすい日になると考えられ、この時期に先祖供養をするようになりました。

ご先祖様への供養と感謝

正月

1月1日
～7日

春の彼岸

3月17日(金)彼岸入り
3月20日(祝)中日 春分の日
3月23日(木)彼岸明け

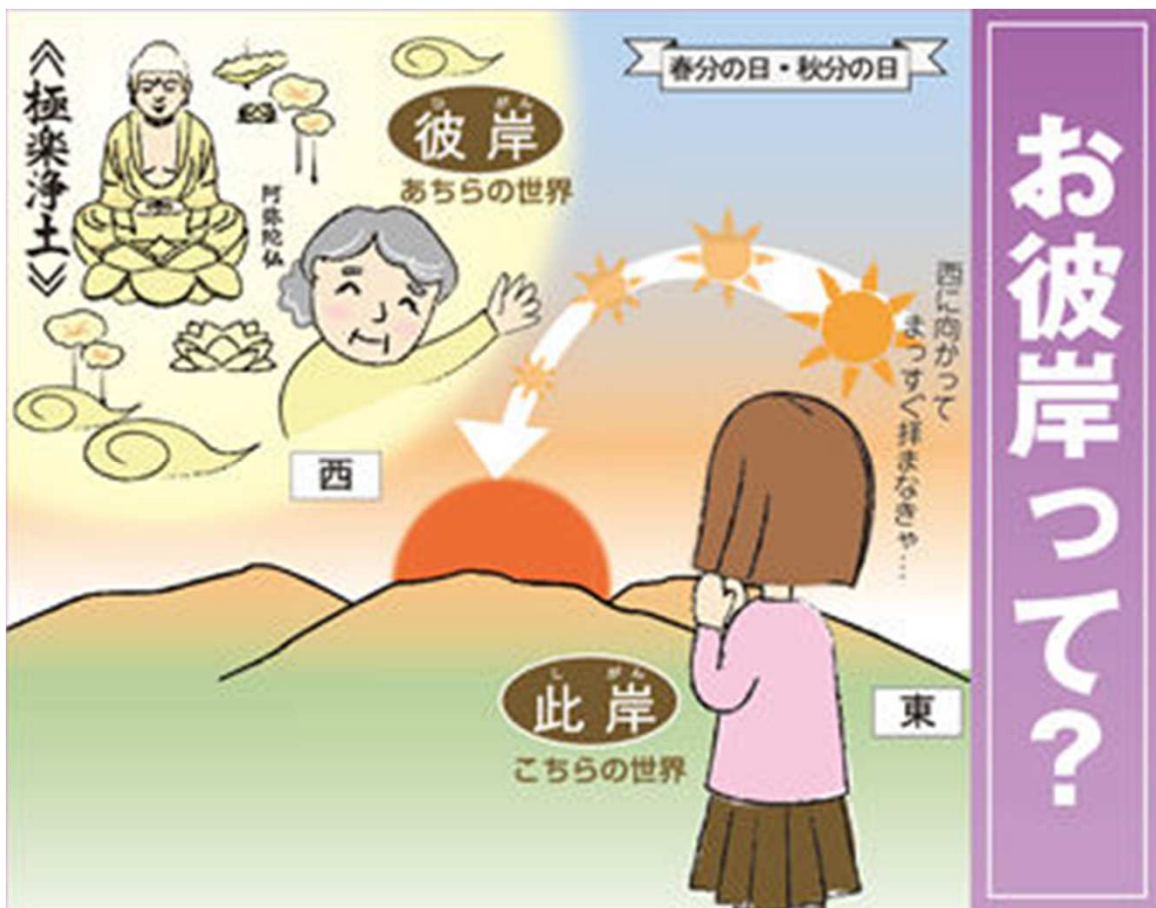
お盆

7月13日～16日
OR 8月13日～16日

秋の彼岸

9月20日(水)彼岸入り
9月23日(祝) 中日 秋分の日
9月26日(火) 彼岸明け

神様の世界(彼岸)は西



現生の世界(此岸)は東